



日本チームコーチング協会
Japan Team Coaching Association Inc.

株式会社ワコール様 事例発表

株式会社日本チームコーチング協会

2015年11月8日



会社概要

社 名：日本チームコーチング協会

設 立：2010年4月15日

代 表 者：今給黎 勝

事業内容：チームコーチングを主体とした組織革新支援

◇パーパス：私たちの目的は、世界最高品質の「チームコーチング」を提供することで人・組織・社会にダイナミックな変化を創り出すことです。

◇ミッション：私たちの使命は、経営・変革・成果実現の全責任を引き受け、達成に燃える「一枚岩の組織（チーム）」を創り出すことです。

◇ビジョン：私たちのビジョンは「チーム・ニッポンの創生」です

- ・ビジョンを実現するチームの輪が世界に広がり続けています
- ・ビジョンを実現する卓越したリーダーが輩出され続けています
- ・日本から「チームコーチング」の世界標準を発信し続けています



2015年10月8日

テレビ東京

ワールドビジネスサテライトにて
ワコール社事例が放映される



社 名：株式会社ワコール

代 表 者：代表取締役会長 塚本能交

代表取締役社長執行役員 安原弘展

設 立：1946(昭和21)年6月15日

塚本幸一が、復員直後に婦人洋装装身具の卸商として和江商事を創業。

2005(平成17)年10月1日

持株会社(株)ワコールホールディングスへ商号変更に伴い、(株)ワコールは(株)ワコールホールディングスの100%子会社として新たに設立。

事業内容：インナーウェア(主に婦人のファンデーション、ランジェリー、ナイトウェア及びリトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他の繊維製品および関連製品の製造、卸売販売および一部製品の消費者への直接販売を主な事業とする。



ワコール社との出会い～導入に至るまで

弊社が参加した人事カンファレンスへ
ワコール社北竹課長が参加くださり
新規立ち上げ部門へ導入することが効果的と考え
部長と相談の上導入が決定



今回の取り組んだ一番の理由

◇新規立ち上げ部門であり、なおかつバックグラウンドが多様なメンバー（育児ママ、障がい者、定年後再雇用者、異動直後者、販売系、事業系など）だったため、チームとしての一体感が必要と考えた



現状の課題

- ◇当チームの課題は、新規立ち上げ部門であり、部門トップからの部門方針は示されているものの、各々が自分事として腹落ちしかねている現状
- ◇メンバー其々が、専門分野を担当しており、各自の業務には邁進しているものの、他のメンバーの業務に関してまでは、関心はあるが手を出しづらい
- ◇ワークショップの必要性は感じながらも、具体的行動までは至らず、チームの一体感は薄い



- ◇チーム全員で直近の事業計画の立案までを実施



ワコール社の実施概要

セッション1 《2日:9名》

2014年10月16日17日

セッション2 《1日:9名》

2014年11月12日



セッション1. 2のポイント

- ◆ チームとは何かの理解
- ◆ 正直に話すためのルールの提示
- ◆ 聴覚障がい者への配慮
- ◆ 全員同意におけるチームビジョン・ミッションの作成
- ◆ ダイバーシティ・キャリア支援室の
中長期ビジョン叩き台の作成
- ◆ チームの現状の客観視
- ◆ 他者の仕事の業務と意味の理解
- ◆ 他者への貢献内容の発掘



私たちにとっての ダイバーシティとは？

ワコール社 実施風景





私たちが期待されていること

- 会社から
- 管理者から
- 社員から

- 社外から

ワコール社 実施風景





私たちのミッションとは



3年後の目標と現状との差

そこにある現実は何か

ワコール社 実施風景





現状打破の重要なポイント



チームコーチングを実施して良かったと思うこと

- ◇ 聴覚に障がいのあるメンバーも臆せず、積極的に参加・発言していたことが印象的
- ◇ 全員で本音を伝え合い決めたので、ミッションや目標が初めてチームの全員のものになった。

別のチームの会議で目標や使命を共有したり、メンバーの仕事の共有の機会も作っていたが、チームコーチングを受けた時は、双方向、みんなが意見を言えたのに対し、通常の会議はやや一方通行の説明に終始してしまったように感じた。反面リーダーとしてショックも受けた。



チームコーチングを実施して良かったと思うこと

◇ミッションを多面的な視点(会社の期待、我々の期待、社会の期待)で捉えたため、より自分達の視野が広がった。

◇ダイバーシティってどういうこと?というのが、自分達の言葉で表現でき、あるべき姿のイメージがしやすくなった。

◇前にもましてチームのメンバーが明るく、主体的になった。

